



高志台

学園だより

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台 (卒業生)	05-09
さよなら高志台 (専攻科修了生)	10-11
さよなら高志台 (留学生)	12
さよなら高志台 (退職する教職員)	13
PICK UP 2021 TOPICS	14-15
卒業生・修了生表彰・進路状況	16

高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに” (越の国・古志の国・高志の国) と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉

旅立ちに向けて

校長 原田 信弘



長岡工業高等専門学校の卒業式・修了式を、無事に迎えられることをとても嬉しく思っています。今年度は世界的な新型コロナウイルス感染も落ち着きを見せ、ようやく学校行事や学生会行事などを

再開しながらスタートしましたが、年末を迎える頃からは感染力の強い、いわゆる変異株の感染拡大によって再度様々な制限を受ける中で、年明けからは対面授業から遠隔授業への切換えもありました。このような状況の中で卒業研究や特別研究を完了させるなど大変な苦勞を乗り越えられ、これから進学あるいは社会に羽ばたいていく皆さんに心からお祝いを申し上げます。

現在、日本の高専は、国内外から非常に高い評価を受けています。タイやベトナム、モンゴルで日本式高専の教育システムがスタートし、「KOSEN」が国際的にも認知されてきています。特徴的なことは、中学卒業の早期から実践的な工学技術教育を行い、さらに課題解決能力などを実際に経験し修得できるカリキュラムが備わっているということです。一昔前の「実践的技術者」すなわち単に手が動かせてものづくりができるワーカーの養成ではなく、実践力にプラスして工学技術の基礎力を身に付け、イノベーションを起こせる「実践力+革新的技術者」を養成する教育システムを採用していることだと思います。

皆さんは、長岡高専で勉学、研究や課外活動などに励みながら「人類の未来をきりひらく感性豊かで実践力のある創造的技術者」としての一般教養や語学、工学の基礎を身に付けられました。さらに、地元企業や地域貢献としてのインターンシップやさらに国際力の醸成としての地球ラボ活動やJICAプロジェクトへの参加など、身に付けた基礎力の応用として社会の様々な課題解決にも取り組んで成果を上げてこられたものと思います。まさしく我々高専が目指す「ソーシャルドクター」（社会のお医者さん）の素養を身に付けたものと確信しています。さらに長岡高専は、グローバルエンジニア育成プログラムも低学年から高学年まで充実した内容で実施しており、皆さんは国際的な舞台でも十分に活躍できる実践力のある創造的技術者の一員として巣立っていかれると期待しています。

新型コロナウイルスの感染拡大やその結果としての経済活動の低迷、また将来的にはカーボンニュートラルや廃プラスチックなどの環境問題、エネルギー問題、食料問題など、我々を取り巻く世界には様々な困難な課題があります。

進学する皆さんは創造的技術者としての工学基礎力をさらにレベルアップしてこれらの課題に立ち向かい、また社会に巣立つ皆さんは、それぞれの就職先で日々の活動の中でもこれらの課題を頭に置いて立ち向かい、そして課題を解決し、人類の幸福と発展に寄与してくれることを大いに期待しています。小さな事からでも構いませんから、常に新しいものを作り出すこと、また新しいことにチャレンジする精神を忘れないようにしてください。

皆さんもわかっているように、現代では科学技術の進歩や産業構造の変化が非常に速くなっています。産業も一次産業から、流れ作業やオートメーションを取り入れた製造業・重工業になり、さらにサービス産業に中心が変わって行き、これからはIoT、AIとかRobot TechnologyさらにDX (Digital Transformation) など情報やネットワークを駆使したビジネスに移行していくものと考えられます。このように10年以内というスパンで科学技術や産業構造に変化が起こるということは、皆さんが今まで身に付けた科学技術の基礎力だけでは対応しきれない場面が出てくると予想されます。例えば、20年後を考えてみると皆さんは、それぞれの企業や所属機関を背負って働く第一線の技術者になっているでしょう。日本の産業を背負っている世代になっているといっても過言ではありません。しかしながらその時には、今のビジネス形態がすっかり変わっているかもしれません。社会に出ても常に新しい科学技術の動向に目を向け、自ら勉強して自分自身の技術者としてのレベルの向上に努めてください。必要であれば本校を訪ねてください。我々は常に科学技術の最先端を意識しながら、高専から輩出する人材への産業界からの要望に応えられるように、カリキュラムやAIR Tech、ブレラボ、JSCOOPなどのプログラムやその他の教育システムをブラッシュアップします。さらに、いわゆるリカレント教育として、巣立っていった卒業生・修了生も必要なら学び直す教育システムもさらに充実して、生涯学習の手伝いができるようにと思っています。

最後になりますが、ここに卒業・修了を迎えることができるのは、第一に皆さんの日ごろの研鑽・勉強・実践を積み重ねて来られた結果でありますが、それを支えていただいた保護者やご家族、共に過ごした友人、先輩や後輩、さらに担任、指導教員を含めた諸先生方の力も計り知れません。感謝の気持ちを忘れないようにお願いします。また、何か困難にぶつかったとき、本校教職員はいつでも全力でサポートしますので、いつでも相談に戻って来てください。

皆さんの今後の益々のご活躍とご健勝を心から祈念して、旅立ちに向けた言葉と致します

“今”の積み重ねが 未来を拓く！

後援会長 長谷川 和明

卒業式・修了式を迎えられた皆様、ご卒業おめでとうございます。

これまで学生たちを温かく見守り、熱心にご指導されてこられました原田校長先生をはじめ、全ての教職員の皆様にあたためて感謝申し上げますとともに、今日までお子さんを支えてこられた保護者の皆様に対し、後援会を代表して心からお祝いを申し上げます。

卒業生・修了生の皆さんは長岡高専での学校生活を通じてたくさんのことを学び、多くの方々との貴重な出会いにより自らを成長させてきたことと思います。これから進んで行く道は、それぞれ異なりますが、大切なことは新たに踏み出していく環境の中でいかに適応し、これまで積み重ねてきた知識や経験を自分なりに最大限発揮できるかどうかです。

コロナ禍に見舞われたこの2年間、学校生活も様々な制約を受け、思い描いていたものとは全く違う形で過ぎ去ってしまった行事や出来事も数多くあったことと思います。それでも時間は流れ、卒業・修了の時を迎え、新たなステージへと歩を進めていかなければなりません。誰もが経験し

たことのない未曾有の事態のなかで皆さんが身につけた生き抜く強さ、その先には未来へと向かう希望の光が必ずや見えてくるはずです。

今、日本のみならず世界全体が大きな時代の転換点を迎えており、環境変化のスピードは加速度的に進んでいます。持続可能な社会の実現が叫ばれるなかで、過去の実験や慣例が通用しない、答えの見えない航海を続けながら、その時点での最適解を探し出していく長い旅が待ち受けていることでしょう。今出来る最大限のことに注力し、「今」を積み重ねて未来を切り拓いていってください。

長岡高専は、これまでも優秀な人材を産業界はもちろん、各界各分野へ数多く輩出され、日本の経済社会の発展に大きな貢献を果たされています。学問や研究の成果は実社会へ還元出来てこそ価値があるものになります。皆さんが長岡高専で学んだ高度な技術や専門知識を活かしながら、次代を担うエンジニアとして、地域や日本、そして世界を舞台に活躍されることを願っています。

皆さんに寄せられている期待は非常に大きなものがあります。新たなステージにおいても目標に向かって日々研鑽し、感性を高めていってほしいと思います。

結びにあたり、後援会活動に多大なご協力を賜りました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、全ての卒業生・修了生の皆さんが、自分の手で新たな扉を開くことを期待して心からエールを贈ります。

勇気と明るさを 社会に届けよ！

同窓会長 古田島 智裕

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。

今年も、昨年と同じ話題で始まらなければなりません。新型コロナウイルスは、オミクロン株によって今までとは違う感染スピードと感染者数となり、新潟県にもまん延防止等重点措置が適用され、生活の一部が制限されました。学内でも、1月末から遠隔授業となり、学年末試験も実施されないなど、大きな影響が出ています。それでも、昨年同様に卒業式・修了式が開催されることが決定し、皆さんが節目を迎えることが出来ることは関係者の皆様のご尽力の賜物です。感謝いたします。

今年度、コロナという負の話題だけではなく、withコロナ・afterコロナの考えで色々な事が試されました。長岡高専でも、オンラインで学園祭の様子を配信するという新たな取り組みが試されました。配信先は限定されてはいましたが、来校せずに学園祭気分が味わえました。

しかし、コミュニケーションが必要となる部分では問題も

出ています。海外からの留学希望者が、日本の水際対策により来日できず、留学をあきらめたという報道番組がありました。それにより、日本の文化などに興味を示している人たちが日本から離れ、いずれ日本を研究しようと思う外国人がいなくなるのではと不安視していました。長岡高専には昨年国際寮（悠和寮）が完成し、留学生との共同生活による国際交流の場が新たに設けられました。多様な文化に触れることがいかに重要かを示しています。皆さんも、卒業後も様々な機会で異文化交流を深めてはいかがでしょうか。

この冬、冬季オリンピックが北京で開催されました。選手団主将高木美帆さんの決意「日本中へ勇気と明るさを届け、社会の未来への希望となれるよう、スポーツの力を信じて、チームジャパニー丸となって、全力を尽くす。」の通り、勇気と明るさを貫きました。また、選手村の全自動の食堂も話題となり、技術の進歩に驚きました。

「カーボンニュートラル」や「SDGs」など、コロナ以外でも科学の力が試されています。スポーツに負けず劣らず、科学の力でも勇気と明るさを社会に届けられるよう、皆さんの活躍を期待しています。

昨年とも言いましたが健康が一番です。まずは自分の体を大切に、そして社会に貢献し自分を輝かせましょう。明日の世界を担う皆さんを応援しています。ご安全に！

さよなら高志台 思い出のアルバム

2017-2021



2017.4.5 入学式

本科1年生207名、3・4年編入生10名、専攻科生47名、総勢264名が新たに本校の一員に加わりました。



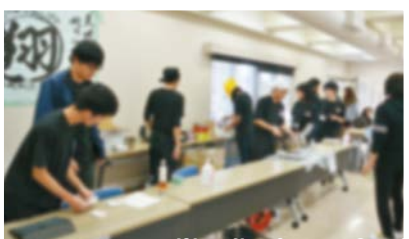
2017.5.9 遠足



2019.5.14 留学生歓迎懇談会



2019.10.16 体育祭



2019.11.2～3 学園祭 (EC3企画)



2020.10 4年授業②

2017

- 1月 アメリカ大統領にトランプ氏が就任
- 2月 プレミアムフライデー初実施
- 4月 世界フィギュアで羽生が世界最高得点で優勝
フィギュア女子の浅田真央が引退
- 6月 天皇退位特例法が成立
上野動物園でパンダ誕生
14歳棋士の藤井4段が29連勝の新記録

2018

- 10月 衆議院選で自民が圧勝し、立憲民主が野党第1党に
- 11月 TPPが米国抜きで大筋合意
- 1月 築地市場最後の初競り
箱根駅伝で青学大4連覇
- 2月 平昌五輪でスピードスケート女子の小平、高木らが金メダル
- 6月 史上初の米朝首脳会談
- 7月 サッカーW杯で日本16強
- 9月 北海道地震
自民総裁選で安倍首相が3選

2019

- 10月 本庶佑氏にノーベル医学・生理学賞
- 1月 大坂、全豪テニス初制覇
- 3月 イチロー引退、日米通算4367安打
- 5月 「令和」に改元
- 7月 はやぶさ2「りゅうぐう」に2回目着陸
- 10月 消費税10%スタート
吉野彰氏にノーベル化学賞
ラグビーW杯で日本代表8強入り
首里城火災

2020

- 1月 英国がEU離脱
- 4月 新型コロナで国内緊急事態宣言、政府が布マスク配布、国民に一律10万円
- 6月 黒人差別の抗議、世界に拡大
- 7月 「Go To トラベル」キャンペーン開始
- 8月 甲子園高校野球交流試合
- 9月 菅内閣が発足
- 12月 はやぶさ2のカプセル回収

2021

- 1月 アメリカ大統領にバイデン氏が就任
1都3県に緊急事態宣言(新型コロナウイルス感染症)
- 2月 新型コロナワクチン接種開始
- 4月 原発処理水、海洋放出を決定
- 7月 東京オリンピック開幕
- 8月 東京パラリンピック開幕、新型コロナ変異株(「デルタ株」)が猛威
- 9月 自民党総裁に岸田氏、首相に就任
- 10月 真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞
- 11月 大谷翔平、満票でメジャーMVPに



2017.4.10～11 1学年合宿研修



2019.1.16～18 2学年スキー合宿研修



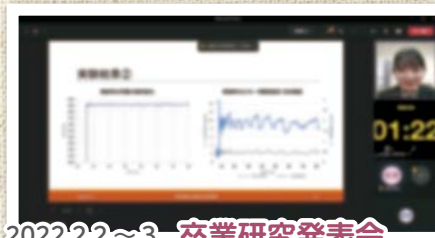
2019.5.17 クラスマッチ



2019.10.17 選挙出前講座
(3年特別講演会)



2020.10 4年授業①



2022.2.2～3 卒業研究発表会
(オンライン)



目立ちたがり屋？ 長谷川 晴基

副寮長にめちゃめちゃ似てる1年生がいるんだけどwww。僕が入寮した頃の、なぜか副寮長だった4年生の先輩に顔が似ているというだけで既に寮内で僕の名前が広がっていた。今は無くなってしまったが当時対面式という入寮した1年生が先輩方の前で一発ブチかますという行事があり、僕はそこで一発芸を披露し、一躍寮内で面白いポジションを獲得した。その後は寮祭で女装をしてパラパラを踊ったり、ノリで寮の池に飛び込んでみたり、5送会でコントをやったりなど3年生まではかなりはっちゃけていた。4年生に学年が上がったタイミングでこんなことばかりしていると彼女ができないと気づき、それから過度なはっちゃけをするのをやめた。だからといってモテることは全くなく、長谷川君いい人なんだけど、恋愛対象として見れなくて…と何度も振られてきた。悲しい。

多感な10代後半を「高専」で過ごせたのは僕の人生の中でとても有意義だった。バカなこと、悲しい経験、いろんな思い出が詰まっている。僕はこの5年間で素直な心を持ちながら、目の前のチャンスをしっかり掴むことの大切さを知った。人に迷惑ばかりかけて「いい学生」ではなかったかもしれないけど充実した5年間だった。ありがとう長岡高専。



5年間ありがとうございました 山谷 健太

入学してからすぐ赤点の驚きと共に始まった高専生活ですが、もうあと数か月で終えようとしています。私は、最終学年の今に初めて赤点のない高専生活を送れていることを鑑みると僅かながら5年間の成長を感じています。皆さんもそれぞれ、充実した一年一年を積み重ね、意義のある5年間を過ごせたのではないのでしょうか。

4年次は新型コロナウイルス感染症の影響はいろいろなところに及び、通常とは異なる授業形態、研修旅行の中止など大変だったことが記憶に新しいですね。一見自粛づくしの年でしたが海外の学生とのオンライン交流、オンラインインターンなどいろいろな人の支援のおかげでコロナ禍前に比べて遜色ない経験や体験を得ることができたと思います。

来年度、私は進学しますが、新しい人間関係などいくつも気になることはあります。皆さんも、進学や就職をして、これから環境が変わることの不安があるかもしれません。ただ、私は、この学校で5年間学んだことが助けになると信じています。

最後に、今まで優しく接してくださった先生方に感謝を申し上げ、仲良くしてくれた友達に感謝します。ありがとうございました。



祝、卒業！ 3～5学年クラス担任 河田 剛毅

担任当初の第一印象はとにかく明るく元気なクラスだということでした。3年次のクラスマッチではドッジボールで準優勝、ハイライトの大縄跳びで見事優勝し、団結力の高さも見せました。私が教室にすぐに入れないように鍵をかけるなんていう悪戯をされたのも良い思い出です。残念ながら、4年次以降はコロナ禍により多くの学校行事が中止となってしまいました。とりわけ、一番の楽しみともいえる研修旅行も中止となり、高専生活の後半はあまり思い出を作ることができなかったと思います。また、4年次は慣れない遠隔授業もあり、学業面でも大変で思うような高専生活を送ることはできなかったかもしれませんが、その分も含めてこれから目いっぱい活躍してほしい。そんなあなた方に贈る言葉です。「この先、みんなが成長していくための原動力は志や目的意識であり、成長の糧となるのは様々な経験です。その中で幾多の困難・壁にぶち当たり、時には失敗や挫折をすることもあるでしょうが、それは成長のために与えられた機会と前向きに捉え、失敗を恐れずいろいろチャレンジしよう！」



多くの楽しみ 2学年クラス担任 小川 秀

ひょんなことから2年次に皆さんのクラス担任となったのが縁で数々の楽しい思い出をいただきました。機械科のクラス担任は初めてでしたが、陽気な人が多く、皆で協力してかたちあるものを創るのが得意なクラスだったというのが印象です。学園祭では機械科男子の発想が生んだクラス企画「女装おぼけ屋敷」は驚きでした。中華風のN君や隣のクラスの助っ人女子による特殊メイクもあり、何とも身の毛のよだつ空間となったことは忘れられません。とにかくインパクトの強さでクラス企画1位を勝ち取りました。スキー研修ではナイターの時間にスキー場の打上花火を眺めたり、「M2」を象った雪像を皆でつくったり思い出深い時間を楽しみましたね（写真）。

当時の密な活動が懐かしく思われるコロナ禍の昨今、皆さんが高専生活で得た豊かな知識と経験をもとに新たな進路先で元気に活躍する姿が次の楽しみです。心から卒業おめでとう。





5年間の偶然
 衆原 功太郎

私が今こうして学園だよりに掲載されているのは、数々の偶然が重なりあったおかげです。15歳の夏に母が長岡高専のオープンキャンパスへ誘ってくれたこと、そこで接した様々な人やロボット、寮食堂で食べた天ぷらうどん、これらがなかったら、そもそも高専生にはなっていなかったでしょう。入学した後も、様々な偶然がありました。1年4組で新しく友人ができたこと、陸上競技部に入学したこと、寮で一番最初に住んだ所が3号館東1階だったこと……これら一つ一つの偶然が私を成長させ、導いていると思います。もちろん、この過程で嫌なこと、大変なことは沢山ありましたが、それ以上に楽しいこと、嬉しいことも沢山ありました。これから先もどのような偶然があるのか楽しみです。

そして、この5年間支えてくれた先生方や、競い、笑いあってくれた友人達、温かく見守ってくれた家族、そして私を成長させてくれた長岡高専にこの場を借りて感謝を申し上げます。5年間本当にありがとうございました。あと2年間も引き続きよろしくお願いします。



高専での5年間
 佐藤 小都里

不安だらけだった1年生の頃が、遥か昔のことのように感じます。入学当時は留年への恐怖から勉強漬けの生活を送っていましたが、徐々に高専の自由な雰囲気にもまれ、ひたすら好きなことばかりする人間になってしまいました。

これが良いことなのか悪いことなのかはさておき、私はこの長岡高専の「新しいことに挑戦しやすい」環境がとても気に入っています。この5年間で様々なことに手を出し、新しい趣味を沢山作ってきました。1年生で始めたお絵描きは、今ではアルバイト代わりの貴重な収入源になっています。時間さえあればいろんなことができるんだなあ、と思い知らされた5年間でした。

もちろんテストやレポートにもかなり苦しめられました。友人と嘆きながらのテスト勉強や、実験レポートに追われながら迎えた朝は苦しかったですが、なんだかんだ言って少しだけ楽しかったです。

最後になりますが、この5年間支えてくださった全ての方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。



負けない心で、先を明るく見よ
 3～5学年クラス担任 竹内 麻希子

ご卒業おめでとうございます。

どんな5年間でしたか？ 1・2年生の低学年から専門科目を受け持ち、日を重ねるごとに、年月が経つごとに成長していくみなさんの姿を見ることが、私の毎日の楽しみでした。早い段階から自身が進みたい道を見出し、そこに向かって歩いていく姿は非常に頼もしく思えました。

4年生を目前に控えた時期より、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響を受けることになりました。この2年間は様々な制限が強いられ、楽しみにしていた行事等も中止になり、心身への負荷は今でも続いているかもしれません。そのような中でもみなさんが卒業と言うゴールに辿り着けたこと、新たな出発を迎えたことを喜び合いたいと思います。

ここから先も、楽しいこと、困難なこと、様々なことがあると思います。やはり人には、希望が大切です。希望とは過酷な運命を乗り越える力です。誰もがこの力をもっています。展望が見えないときも必ずブレイクスルー、その次のことがあると信じて前に向かって進んでいくことを願っております。



卒業前に最後の検定試験
 ～長岡高専卒業検定～
 2学年クラス担任 江田 茂行

5年間学んだ長岡高専に関する「検定試験」(○×式)を出題し、全10問○の人に「卒業おめでとう」の言葉を贈ります。①：長岡高専学校長名を漢字で書ける。②：校歌1番を歌詞なしで歌える。③：クラス担任の名前を漢字で書ける。④：専門学科の先生の名前をすべて漢字で書ける。⑤：卒業研究課題について小学生にもわかりやすく説明できる。⑥：長岡高専で学んだことを瞬時に思い出せる。⑦：何でも相談できる親友が3人以上できた。⑧：お世話になった教職員へ卒業挨拶は済ませた。⑨：高専でやるべきことを後輩に伝えることができる。⑩：保護者やお世話になった方々(中学校の担任・先生など)へ報告と感謝の気持ちを伝えた。

すべて正解できなかった人は、今後より一層、自分のいる場所(大学・企業等)に誇りを持ち、学業や職務に真摯に取り組み、出会う人に対してより一層の感謝と敬意の念を持つように意識してください。そうすれば、おのずと状況は良い方向に向かうと思います。

卒業おめでとう。





寂しさと成長と感謝 小日向 慶人

卒業アルバムの話がクラスで上がった時、もうそんな時期なのかと、卒業という言葉の現実味が全くありませんでした。この原稿の執筆を始めてから、少しずつ寂しさが滲んできたように思います。

僕は1～5年生までずっとロボコンをしてきました。そこで学んだことがあります。それは、「強い人の近くにいると、自分も強くなれる」です。強い人というのは、優れた技術を持っていたり、考える力が優れている人のことです。ロボコンは1人ではできないもので、だれかと協力プレーするのが普通です。強い人と同じグループに入ると、その人の考え方や技術を間近で盗むことができるのです。強い人のいるグループは自身のレベルよりも少し高いことをやっていることが多いかもしれませんが、そういった場所に身を置くことが成長に大切な事だと思えます。

最後に、限りなくわかりやすく教えてくださった野澤先生、対応が迅速すぎる高橋先生、面倒見が良く少しねじが外れていた福田先生、忘れられない思い出を作ってくれた在校生と卒業生の皆さんに感謝を申し上げます。



ありがとう 陽田 樹

今思うと、入学時には全く想像できなかった高専生活を過ごしたなと感じています。高専での毎日は、私を大きく成長させてくれました。特に、たくさんの大切な人たちと出会えたことは、一生の財産になると思います。

野球部で出会えた仲間や、監督、コーチとは、部活を通して貴重な時間を過ごすことができました。馬鹿みたいな話で盛り上がることもあれば、真剣な言葉をぶつけ合ったりと、一つの目標に向かって熱くなれたことは貴重な経験となりました。寮生活では、学年や学科関係なく、多くの人と関わることができました。一緒に暮らした仲間たちとの生活が終わるのは少し寂しいです。また、高橋先生を含む多くの先生方からは、在学時の勉強だけでなく、卒業後も役に立つ知識を大いに学ばせて頂きました。そして、クラスのみんな、個性豊かで、一癖も二癖もあるメンバーが揃っていましたが、誰もが光るものを持っていて尊敬できる、大切な仲間たちでした。

ごちゃごちゃした不細工な文章になってしまいましたが、最後に、長岡高専で出会ったすべての人、支えてくれた家族に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



日常への感謝を忘れずに 3～5学年クラス担任 高橋 章

卒業おめでとうございます。

わずか数年の間に社会は大きく変わり、マスクで顔の半分を覆う生活を強いられるようになりました。最初は表情が読み取れなくなるばかりか、個人の識別が難しくなることまで心配したのですが、今では「これが普通」と、不自由を感じないまでになっています。

動作や判断を繰り返すことで習熟・上達するのは、人間の優れた適応能力によるものですが、慣れて当たり前と思い込み、陥穽にはまることには注意が必要です。学生生活の中では常識と思われてきたことが、外の世界でどう評価されるか、卒業生の皆さんは間もなく問われることでしょう。もちろん、送り出す側としては「さすが高専」と高く評価されることを期待しています。

どうか高専生活の「当たり前」を支えてくれた周囲の人への感謝を忘れずに、次のステージに進んでください。距離や人数など気にせずに、食事やお酒を楽しみながら、高専生活の思い出を語り合える日が近いことを願っています。

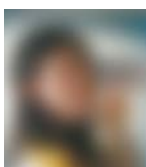


卒業おめでとう 2学年クラス担任 野澤 武司

卒業おめでとうございます。早いもので皆さんの担任をしてから3年経ち卒業となりました。

2年生の4月に初めて顔を合わせた時、クラスマッチ、学園祭、スキー研修、そして、普段の授業の時など、一緒に経験した場面を懐かしく思い出します。学園祭のクラス企画の出し物の決定などを全部自分達で行い、自分達で決めた通りに実行もできるなど、真面目で自主性が高い人が多いという印象が残っています。その後3年経ち、皆さんも更に色々な経験をしたと思います。楽しい経験やうれしい経験以外に、つらい経験、悲しい経験もあったと思いますが、皆さんはそれらを着実に1つ1つ乗り越えてきたと思います。経験は人を育てる肥やしと聞きます。私が担任をしていた1年間も含め高専での5年間の経験は皆さんを確実に成長させていると思います。卒業後の新しい世界でも色々な場面に出会うと思いますが、長岡高専で経験したことは助けとなり、皆さんを更に成長させる経験の1つとなると思います。そうして更に立派に成長した皆さんの姿をいつか見られるのを楽しみにしています。





ありがとう長岡高専 飯野 杏

みんな色々な気持ちを持って高専に入学し、高志台をさようならすると思います。今は、さよなら高志台、という文字を見るだけで涙が出るくらい、高専との別れが寂しいです。みんなと築いてきた5年間は、大変なこともありましたがとても充実した日々でした。とても心配性で、私達の事をたくさん考えてくださった担任の宮田先生や、授業をしてくださった先生方、支えてくれた事務の方々のおかげで私達は卒業することができます。難しい課題やたくさんのレポートに反発を覚えたりもしましたが、これらは私達の学びとなり、将来に繋がっていくのだとやっと気づくことが出来ました。

そして卒業生のみなさん、コロナ禍で最後を学校で過ごせず、曖昧に高専生活が終わってしまいましたね。私はもっと研究室で話したり、売店に行ったり、学食でお昼を食べたりしたかったです。ですがなんでもない日常が、とても大切なものである事に気付くことが出来ました。これからそれぞれ新たな道に進みます。後悔しない様に頑張ってください!!



自由研究 田崎 傑士

国語の時間に、安部公房の小説『鞆』を読んだことがありました。作中の重たい鞆は登場人物の行く末だったり、自由だったり、あれやこれやと制限します。翻って高専の校風って、とても自由です。勉強に打ち込むのも、部活に入れ込むのも、他にやりたいことを優先するのも自由、自己責任。最初は戸惑いました。なんでもできるけど、何をしたら良いのか。見当がつかないので、とりあえず色々試してみることに。クラス委員をしたり、海外派遣研修に参加したり、演劇の監督をしたり…その中で段々と、やりたいことや、人間関係とか居場所とか、欲しいもの、自分に向いているものが見えてきました。沢山ある選択肢の中から手探りで選んで鞆に詰めこんでいくような、そんな5年間でした。作品の正しい解釈とかは一旦棚上げて(国語の先生ごめんなさい)、5年かけて培った重みが今の僕を形作っているように思います。恵まれた環境や、本当に素敵な友人たちに囲まれて過ごした日々は、紛れもなく僕の財産です。一生、大切に持ち歩きます。本当にお世話になりました。



前を向いて新たな一歩へ 3～5学年クラス担任 宮田 真理

卒業おめでとう。皆さんと一緒に長岡高専に所属し、あっという間に5年が経ちました。振り返れば、いろんなことを思い出します。新型コロナ対応で授業が初めて遠隔実施になったときには、新しい環境に戸惑うことも多かったと思います。そんな中でも遠隔授業明け初日のSHRにクラス全員が遅刻することなく集合してくれたことは、とても嬉しく、記憶に残っています。受験や就職活動に果敢に挑んだ経験を通して、皆さんが一段と成長したと感じたことも嬉しかったです。

コロナ禍で今までは当たり前だったこともできなくなり、この数年間は変化を問われる日々を過ごしてきたように思います。思い通りにいかない時や苦しい経験も乗り越えたからこそ、今があると思います。頑張ったときは、ぜひ自分を褒めてあげてください。そして、自信を持って卒業後の新しい進路に向かって突き進んでいってください。皆さんのことをこれからも応援しています。最後に、クラス担任は初めての経験でしたが、この3年間を通してクラスの皆さんから多くの元気をもらったことに感謝したいと思います。ありがとう。



生きていくということ 2学年クラス担任 福田 昇

長岡高専を離れ、教師の立場で「卒業おめでとう」という言葉を言えないため、色々悩みました。それに、私自身が老いた今でさえ、人の心を満たすような君臣水魚の生き方をしてきた身でもありません。若い頃はこれからどのように生きるかと悩み、そして、老いては今後どのような人生の終止符に向けて自分を締めくくろうかと悩んでいるのです。

君たちの長い人生から見たら、私が担任として関わりあった年数は、ほんの一握りでしかありません。それでも、私にとって、君たちは大切な教え子です。今の君たちに贈りたい言葉は、私が君たちと同じ年齢の頃に訪れた北鎌倉の円覚寺にあったものです。

裏をみせ 表をみせて 散る紅葉

色鮮やかな紅葉が、自ら心を持っているかのようなこの言葉に、私は生きていくということの答えがあると思います。





5年間を振り返って 石橋 世唯弥

5年間を振り返ってみると、今思えばあっという間と感ずるほど充実した高専生活を送れたのではないかと思います。

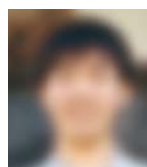
入学した当初は、90分授業や寮生活など慣れないことが多く、5年間本当にやっていけるのか不安に感じていましたが、合宿研修や学生会行事等を通じて交友関係を広げることで少しずつ不安は緩和していきました。

また、レポートやテスト勉強、卒業研究に追われていた日々は苦痛を感じながらも多くの人の支えがあって、何とか乗り越えることができました。

2年生から4年生ではプレラボ活動に参加し、ミニチュア建設現場体験会を通じて多くの子供達とその保護者の方々と関わり、コミュニケーション能力を向上させることができました。また、3年生では海外派遣研修で10日間モンゴルへ行き、日本との文化や習慣等の違いを知り、国際的な視野を広げることができたと同時に「言葉の壁」の大きさを実感しました。

このような経験は全て自分の成長につながる貴重な経験だったと思います。

最後に、5年間お世話になった教職員の皆様、クラスメイト、支えてくれた家族に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



すべての人に感謝 遠藤 匠

高専での生活はいつも周りに助けられてばかりでした。1年生では混合学級で戸惑うことも多々ありましたがクラスメイトのみなさんには勉強や生活面でのサポートをしていただいて、楽しく過ごさせていただきました。

2年生からは学科ごとのクラスになり4年間環境都市工学科のみんなと生活を共にしましたが、こんなボンコツな僕を見捨てず見守ってくれてありがとう。

私の指導教員である都市計画研究室の宮腰和弘先生は今年で退職を迎えます。普段の日常生活のことから研究のことまでご指導いただきありがとうございました。

この4月から金沢工業大学に進学します。初めての県外での生活、初めての一人暮らしになります。ここで学んだことを糧にさらなる飛躍を目指して頑張ります。

最後に、この高志台にてたくさんのことを教えてくださった先生方、日ごろの学校生活を支えてくださった職員の方々に大変お世話になりました。御礼申し上げます。また、5年間学校に通わせてくれた両親に感謝します。今日もみんな笑顔で頑張ろう！



卒業おめでとう 3～5学年クラス担任 山本 隆広

皆さん、卒業おめでとうございます。4年次から新型コロナの影響で研修旅行など多くの学校行事が中止になりました。そのような中でも、高志祭の演劇や土木の日の行事など楽しく取り組んでいましたね。私も皆さんと同じように高専を卒業し、そして21年が経ちました。この先、自分の身の丈にあわないだろうと思うような出来事がたくさん自分の身に降り注いできます。そのような時、楽しく一歩進んでみてください。皆さんは長岡高専の生活を通してたくさんの知識や知恵を身に付けています。皆さんなら大丈夫です。

高専生活は長いようで、でも今卒業を迎え、あっという間だったという気持ちなのではないでしょうか。これからみんなは思い思いのところに巣立っていくわけですが、高専時代に築いた交友関係をぜひ、大事にしてください。そして、みんなが集まってお酒でも飲めるような環境が早くくることを願っています。皆さんの益々の活躍を祈っています。



卒業おめでとうございます 2学年クラス担任 松永 茂樹

皆さん、ご卒業おめでとうございます。この学年では1年次の混合学級、2年次には環境都市工学科の担任を務めました。私の高専教員としての最後のクラス担任だったので特に感慨深い思いがあります。日々の生活や様々な行事に係わりながら、親子以上に年齢の離れた若者たちの気持ちを理解しようと努力しました。一人一人と教員室だけでなく、教室前のロビーや時には寮の居室へ赴いて色々話をしました。様々な悩みの相談に乗ろうと思いましたが、物事や人間関係を深く洞察する言葉に接し、むしろ私の方が目を開かれる思いをすることもしばしばでした。幸い全員が3年へ進級できて山本先生に担任を引き継ぎました。すべての授業が終わり掲示物を撤収しようと教室へ行ったところ、教卓の上に売店の包み紙で折った白い鶴が5羽置いてありました。私はそれを捨てることができずに自室へ持ち帰り、書棚の片隅に置いて、時折クラス担任の日々を懐かしく思い返していました。卒業される皆さんが鶴のように広い世界に飛躍し、いつか古巣を訪ねてくれることを願っています。





ありがとう、長岡高専

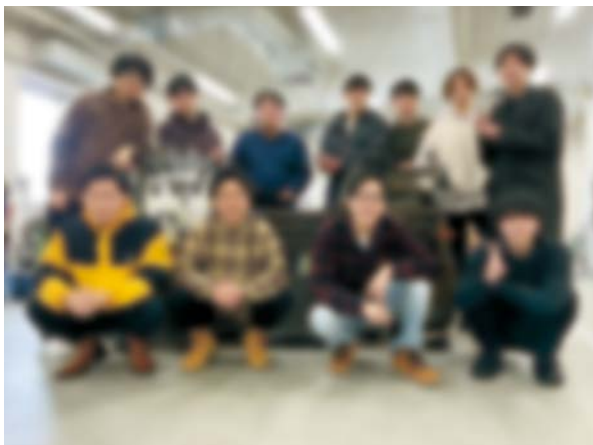
電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）

田中 将太郎

高専生活を振り返ってみると入学から7年という時間が経っていることに改めて驚きました。ついこの間まで中学生だったような気もしますが、気が付けば22歳となり本当にあっという間の7年間だったと感じています。くじ引きで当選してしまってこの原稿を書くことになり、何を書こうか考えたのですが、真っ先に思い浮かんだのは仲間や先生方の存在、すなわち「ありがとう」という感謝の気持ちでした。7年間苦楽を共にした仲間たち、研究活動で大変お世話になった金子先生、たくさんのことをご指導いただいた先生方をはじめ、長岡高専を運営していただいている方々、これまで育ててくれた両親、その他にも学内に限らず本当に多くの方の支えがあって、7年間を過ごせたことを改めて実感し、感謝してもしきれません。

高専では勉強に限らず本当に多くのことを経験し、学ばせて頂きました。来年から私は社会人の一員となります。高専で学んだことを存分に発揮し、少しでも長岡高専に恩返しができるように頑張りたいと思います。

最後に繰り返しになりますが、7年間で私に関わっていただいた全ての人に感謝を伝えたいです。7年間、本当にありがとうございました！



機械工学科出身専攻科生一同

7年間は長い

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）

酒井 陽太

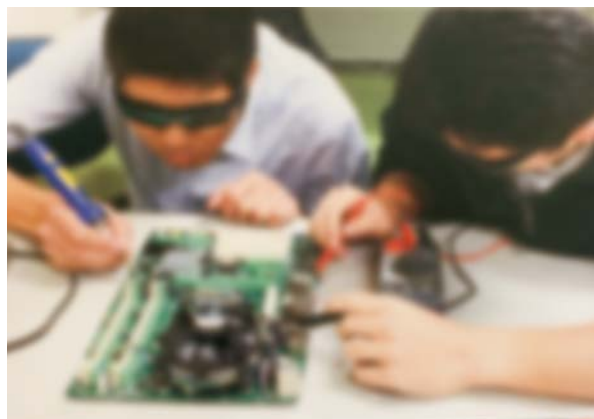
「同じ学校に7年間もいるのは長くて飽きそう。」ってよく言われます。僕もそう思います。しかし、真面目に自分の高専生活を振り返ってみると、7年という期間は非常に丁度良い期間だと感じました。理由は、本科の5年間で“好きなこと”を探して、専攻科の2年間で“仕

事にしたいくらい好きなこと”を決めて、就職先を選ぶことができたからです。

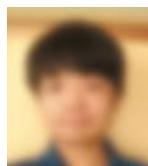
高専に来てから、僕一人では絶対に参加しない大会に友人と参加したり、全く興味のなかった遊びに誘われてそれが趣味になったりしました。いろんな楽しいことを知れたのは、高専ならではの個性的な友人や一風変わった先生方のおかげです。

そんな楽しい経験から、仕事にしたいと思えるくらい好きなことを決めるというのは、とても大変なことでした。でも、専攻科の在学期間のおかげでしっかりと自分の将来について考えることができました。

振り返ってみると、この長い7年間の経験全てがかけがえのないものでした。日々の生活を彩ってくれた友人や先生方、そして両親のおかげです。本当にありがとうございました。でも流石に飽きたので4月から別の場所で頑張ります。



本科の卒業アルバムに使われた写真。
Twitterでバズって海外のYouTuberにネタにされた。



色んな事があったその中で

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）

小澤 拓也

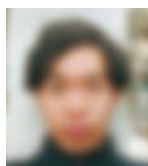
僕が高専へ入学してから様々なことがありました。それをどれくらい前のことだったか？ と思いついてみると長い年月をこの高志台で過ごしたことがわかります。例えば入学してすぐに行き混合学級のクラスと仲を深めた胎内合宿。これは8年前です。例えば自由行動で東京の爆音上映の映画を見に行き帰りが夜中の1時を回った見学旅行。これは4年前です。例えば応援団長として全学生の前でピ○チューウのモノマネをした体育祭。これは3年前です。最後に2週間もの間、技術だけでなく今の時代技術者として何をしていかなければならないかを教えていただいたインターンシップ。これは2年前です。

こうしてパツと思いつくだけでも入学してから貴重な経験をさせて頂いたことが沢山あり、思い出として記憶に残って

いるのは間違いなく僕の周りの人たちに恵まれていたことの証明だと思います。僕は今まで僕を支えてくれた人たちに感謝をしなければいけません。これからの未来を懸命に生き、成長した姿を見せていかなければなりません。それが恩返しになると信じて。8年間もの長い間、みなさん本当にありがとうございました。



インターン最終日に行った成果発表の様子



2544日

物質工学専攻（物質工学科出身）
五十嵐 優

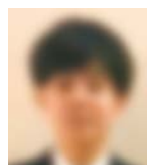
2544日。私が高専に入学してから過ごしてきた時間です。1000日くらいは研究して、400日くらいはJICAの課題解決型演習をこなし、24日くらいタイに行って、そして今、修了する時がやってきました。月日が経つのは早いもので、あの頃不安に怯えていた私も、今では最高学年として研究室に君臨しています。2544日という日数は私に多くの宝物を与え、自分を変化させました。

最も大きな変化と言えば、自身が活動的な人間になった



JICAチャレンジの記者会見にて

ことでしょうか。高専はよくも悪くも自由な校風の為、その人の過ごし方次第で大きく変わります。私は良い仲間に恵まれ、多くのチャンスをもたらしていく中で、主体的に動く充実感、開けた世界の楽しさを知りました。チャンスの神様は後ろ髪が無いと言います。これから先、生きていく中でも様々なものを知り、経験していくことになりますが、そういったチャンスに対して前から手づかみ取れるようにしたいと思いました。こういう風に思えるのは高専という特異な空間で過ごしてきたからこそだと思います。7年間本当にお世話になりました。



思い出

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）
稲田 晃大

高専に入学して7年が経ちました。人生の3分の1をここで過ごしたと思うと、怖いです。そんな7年の中で最も楽しく、学びのあった研究室での思い出について話そうと思います。

通生かつ部活動に入部しなかった私は、先輩や後輩との繋がりが無い人間でした。本科4年生の後期に研究室配属され、私が入った研究室には3人の先輩がいました。その先輩方はとても優しく、研究で分からないことがあればいつでも教えてくれるし、資料作成などで悩んでいることがあればアドバイスをくれました。気さくで同級生のような先輩方でした。

専攻科に進んでから、研究内容が変わり、他研究室の先輩方とも関わるようになりました。こちらの先輩方は研究熱心で、研究活動の厳しさを教えてもらいました。この経験を糧に大学院でも研究に精を出したいと思います。他にも、研究室によく顔を出してくれて場を和やかにしてくれた先輩方、研究を手伝ってくれた後輩たちには感謝しています。

最後になりますが、これまで支えてくださった教職員の皆様、長い間本当にありがとうございました。これからも頑張ります。



お世話になった先輩方の送別会



決して忘れない

物質工学科／国籍：中華人民共和国

張 乃偉／ツアン ナイウェイ（チョウ）



時間はあっという間で、長岡高専に入学してからもう既に3年目でした。私にとってまさにこの3年間で私の人生を変えました。まだ中国にいった時の私は未来のこと何も見えず、迷い最中に父さんから「日本の高専に留学しに行け」と言われ、結局ただ半年間の勉強で、長岡高専に編入しました。日本語はまだ上手く喋れないし、初の外国生活だし色々ストレスが溜まってしまい、テストで赤点を取り補習を受けなければならない時、本当に精神崩壊寸前だったのです。その時、私のチューターがずっと私の側にいてくれました。日本語がわからない時親切に教えてくれたし、レポートの書き方が分からないときは週末に学校に来てくれたし、初めての私を支えてくれました。また、荒木秀明先生の研究室に配属した後も、先生と先輩に多くのものを教えられ、最初の日本語も上手く喋らない留学生から、学会に参加し賞も取れて、研究奨学金も申請できるようになりました。夜遅くまで研究をやったり、発表前夜、皆さんと一緒に練習し自分のプレゼンの質をさらによく磨いたり、これらの記憶はもう既に私にとっては宝物である。

長岡高専で経験してきたこと、そして感謝したい人もまだたくさんいます。これらのことは卒業しても決して忘れない。また会いましょう。



宝物

物質工学科／国籍：タイ

ムーンシュア スウィジャック（ジャック）



高志台に来てもう3年経ってしまい、時間の早さに驚くものです。自分が頑張ってきたこと、大事な友達や先輩後輩と一緒にしたこと、悲しいことや嬉しいこと等々、私はこの3年間、それらの出来事を表現できないたくさんの気持ちを感じながら過ごしてきました。そして、星空のように数えきれないほど、掛け替えのないたくさんの思い出を作ってきました。

まず、私に教育や生活の指導をしてくださった先生や教職員の方々に感謝いたします。ここで身に付いた知識やスキルを糧に、進学先でも活かして一生懸命頑張ります。

次はクラスの皆でした。皆と過ごした日々は楽しくて、たくさんのことを学びました。日本語の成長が早かったのも

もちろんそのおかげですが、それよりも、私のことをクラスの一員とも認め、受け入れてくれたことはとても嬉しいです。

ここで出会ったタイの後輩たちや他の留学生の皆も私にとって大切な友達です。コロナ禍でずっと寮にいましたが、そのおかげと言ったら何なんですがみんなともっと仲良くなって、一緒に楽しいことをしたり遊んだりして、毎日はとても充実しています。本当の家族であるかのように感じて、高専にいる間はとても心強いです。

ここでは語り切れませんが、高専生の生涯の思い出を私の「宝物」にして、ここを卒業させていただきます。3年間、ありがとうございました。



長岡高専と私

環境都市工学科／国籍：マレーシア

ハフィジン シャミ ビン スハイリ（フィジ）



長岡工業に到着した初日、この学校の美しさに言葉を失った。また、そのとき平井先生と福島泰斗さんに生活のチューターとして迎えてもらった。次の日、朝食に納豆と生卵を初めて食べたのを今でも覚えている。美味しいので、それが今日までの私のメインの朝食になった。長岡工業での最初の月の勉強は私にとって非常に挑戦的だった。それは、言語の壁に問題があり、英語以外の講師の内容がわからなかったからだ。月ごとに、私のチューター（樺澤壮太）は私にすべての試験に合格するためのヒントとコツを教えてくれたため、これまでのところ、すべての科目を合格することができた。私は4年生のときにマレーシアから日本に戻れなくなり、先生が私の家に教科書を郵送するのを手伝ってくれたことを助かった。もう一度、チューターと友達のおかげで、私はここで卒業している。私から後輩への簡単なアドバイスの1つは、特に勉強に問題がある場合は、常にチューター、友人、または教師に尋ねることだ。今まで助けてもらって、長岡高専ありがとうございました。



お世話になりました。

環境都市工学科

宮腰 和弘

長岡技大から本校に着任して以来、長い期間お世話になりました。その間、非常に目まぐるしく変化があったように思います。ハード面では、2004年の中部地震による校舎の復旧復興。ソフト面では、専攻科設置、JABEE認証等認証評価。組織的には、機構ができ全国の国立高専が統括されました。

研究室では地域に密着したテーマを学生に選んでもらい研究を進めてきましたが、中心となったテーマは、地方都市、地域交通、除排雪でした。ただ初期の頃と比較して考える時間が少なくなり余裕がなくなってきたように思います。仕事や就職関連で県内の自治体、企業に行くところに行っても卒業生が居り、頼もしく思います。これまでの高専教育の蓄積だと思えます。最後に長岡高専のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



「なりたい自分に」

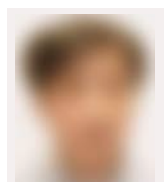
総務課課長補佐（総務企画担当）

江口 昌男

卒業生、修了生の皆さん。おめでとうございます。ちょっと照れくさいとは思いますが、今日まで皆さんを支えてくださったご家族に対し、ぜひ感謝の気持ちを伝えてください。さて、私はこの3月をもって定年を迎え、長岡高専を去ることになりました。私は大学卒業から現在に至るまでの37年のサラリーマン人生の中で、2度の転職を経験しました。最初の職業は「銀行員」です。就職後に結婚し子

供も生まれ、それなりに生活も安定していましたが、高等教育機関で仕事をしたいという思いを常に持っていました。その内なる思いが原動力となり、私立大学、国立大学へと順に転職を果たし、さらには、長岡高専への出向を希望し、こうしてここで仕事をする機会も得ることができました。

人生には必ずいくつかのターニングポイントがあります。皆さんも「なりたい自分」を思い描き、チャレンジすることを恐れず、悔いの残らない人生にしてください。最後に、無事定年を迎えられたのは、本校教職員の皆様からのご指導ご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。



定年にあたり

学生課課長補佐（教務担当）

堀 圭司

昭和55年4月、春が始まったばかりの高志台、そこに在る長岡高専に採用され、それから43回目の春の訪れが間近い高志台にて定年を迎えることになりました。事務部職員として、学生や教職員の皆様へのお力添えがどれ程出来てきたのか、誇れる程の事はありませんが、ここまでやって来られたのは、多くの上司、諸先輩方や同僚の皆

様から支えてきていただいたものと感謝する次第です。

高専事務部の業務で、自分自身が一番充実していたと感じるのは、教務・入試に関する業務でした。歴代の教務主事や専攻科長の下で、これらの業務に携わり、長岡高専に入学した学生の皆さんが学び、巣立ち、社会で活躍する姿を間近で見ることができた事、特に直近の三年間は専攻科生の学位授与申請のサポートを行い、修了生の全員が学位授与できた事は、自分自身の人生にも充実感という大きな財産になっています。本当にありがとうございました。



1 「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。（2021.08.11）

内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携した「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に、本校の教育プログラム『AIR Techエンジニア育成プログラム』が認定されました。

また、認定を受けた教育プログラムの中でも先導的で独自の工夫・特色を有するとの評価を受け、本認定制度に申請した高等教育機関の中で新潟県内唯一、全国の高専でも唯一「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」に認定されました。

2 KDDI株式会社、長岡市と産業創造連携締結しました。（2021.11.09）

本校、長岡市、KDDI株式会社が2020年8月5日に締結した「地方創生に向けた産業創造連携協定」に長岡技術科学大学と長岡造形大学が2021年10月22日に参画しました。

五者は本協定を通じて、次世代の地域産業をリードする人材を育成し、地域産業のDX（※）推進の取り組みを加速します。（※DX（デジタルトランスフォーメーション）：「進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革する」こと）

3 学園祭（高志祭）を開催しました。（2021.11.16）

11月5日（金）～7日（日）に、昨年実施するはずが中止となっていた、3年に一度の3日間にわたる「高志祭」を開催しました。感染状況を注視しつつ、人数制限や手指消毒の徹底などの対策を行って開催することができました。「どのような感染症対策で例年の企画を実施できるか」、「この状況でも実施できる企画は何か」など、実行委員会を中心に学生たち自らが考えて準備し、開催しました。規模や内容は縮小しましたが、

実行委員会の頑張りと参加者の理解・協力のある、思い出に残る素晴らしい学園祭になったのではないのでしょうか。

4 バスケットボール部男子、全国高専大会 優勝!!（2021.12.01）

11月20日（土）、21日（日）宮城県白石市ホワイトキューブで開催された第56回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技において、本校バスケットボール部男子が優勝しました。41年ぶり5度目の優勝、14年ぶりの入賞です。

5 長岡高専「国際寮（悠和寮）」落成記念式典を挙行了しました。（2021.12.21）

12月15日（水）に、国際寮完成に伴う落成記念式典を執り行いました。

建物は鉄筋コンクリート造の3階建てで、収容人数68名、1階から3階の寮室は全室個室化された6から7名単位で入居するユニット型となっており、留学生と日本人学生で国際交流が図れるよう計画された混住型の学生寮となっています。



本校における新型コロナウイルス感染症への対応を振り返って

学 習

新しい学校の日常風景

副校長（教務主事） 田中 聡

コロナ禍への対応も2年目となった今年度。渡日が遅れた一部の留学生に対するリアルタイムでの授業配信の対応が7月まで続きましたが、学校全体としては、全学年の全授業を原則として面接授業として行うことを方針としてスタートしました。夏場の第5波で緊張が走りましたが、その後はワクチン接種もすすみ、しばらく穏やかな日が続きました。しかし、年明けからの感染急拡大。私は今、1月21日から新潟県等に「まん延防止等重点措置」が適用されるとの報道をききながらこの原稿を書いています。

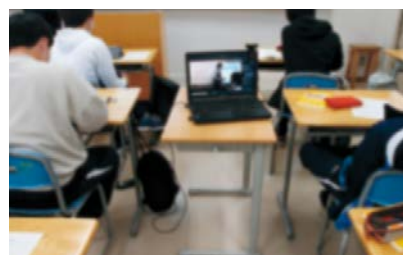
ところで、ここ2年対応がつづいている感染症は、「コロナ禍」の言葉通り「禍（わざわい）」であることは間違いありません。しかし、多くの方がそうにお考えでしょうが、必ずしも悪いことばかりではなかったと受け止めています。特に、厳しい状況の中、学生と教職員が一丸となって遠隔教育の手法を身に付けたことは、本校の教育にとって大きな、大きな前進であったと確信しています。

今後は、緊急時はもとより、平常時においていかに遠隔教育の手法を有効活用していくのか、試行錯誤しながら探っていくことが課題となります。この点は、他高専でも、さらには教育界全体でも大きな関心事となっていますが、本校では、その前提として一人一台のパソコンを学生が所有・活用するBYOD体制の試行が今年度後期からスター

トし、また、数学（3年確率）の授業では、遠隔教育の手法を積極的に取り入れた取り組みが、やはり今年度後期に試行されています。さらに、来年度には、全学年の全授業において、前期・後期15回の授業のうち、それぞれ1回分ずつを遠隔授業として実施することとしています。これらの取り組みを通して、新たに獲得した教育手法を平常時でも有効活用する道を探って行きたいと考えています。

本校では、これまでもさまざまな教育改革に取り組んできました。国際化や地域連携の推進、分野横断型教育をはじめとする次世代教育の推進などの成果は、全国の高専からも注目されています。また、これらの成果は、確実に新しいものから日常的なものへと定着してきているように思われます。コロナ禍で獲得した遠隔教育の手法も、やがては新しい日常の中に当たり前のように位置付けられていく（いつでも、どこでも、だれでも）ものと確信しています。

これからもみなさまのご理解とご協力をいただきながら、対応を進めていきたいと考えています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



渡日が遅れたマレーシアの留学生に対して授業をリアルタイムで遠隔配信（2021年4月7日撮影）

「一陽来復」を祈念して

校長補佐（学生主事） 猪平 直人

令和3年度は、多くの行事を実施しました。特に学生会が主催する諸行事については、ほぼ予定通りに実施することができ、ほっとしています。

学生会行事は、5月に文化競技会、10月に体育祭、11月に学園祭、12月にはクラスマッチをほぼ計画通りに実施することができました。中でも学生の工夫が光ったのは、新行事の文化競技会と学園祭だったと思います。文化競技会は会場を分散させて各種ゲーム、並行してグラウンドや体育館で体育競技を行い、校内で中継するという新たな試みでした。また学園祭は3日間の「高志祭」を予定通り実施し、学科対抗演劇も無事行うことができました。学生自身による学園祭遠隔配信も好評で、コロナ下でも企画実現に向けて取り組む学生達の姿は、非常に頼もしいものがありました。体育祭での保護者観覧中止、



学園祭演劇（ステージ上の学生は全員マウスガードまたはマスクを着用）

学園祭での事前予約による来場者制限など、行事の観覧を楽しむにしておいでの方々の保護者の方々、卒業生の皆さんには申し訳ない面もありましたが、それでも行事を実施できたことは、学生にとって貴重な体験になったことと思います。

1年生の研修は校内で実施し、各学科による「学科ガイダンス」を新たに行いました。また2学年のスキー合宿研修は、予定通り2泊3日で実施しました。特に今年度2年生は、入学時から遠隔対応で学生生活をスタートさせた学年で、学年全体として行う初めての校外行事だっただけに、色々感慨もあったのではないのでしょうか。

部活動については、原則として新潟県が発表する高等学校向けの指示に準じて活動を継続し、多くの大会に出場、中には全国大会優勝など、輝かしい成績を収めた部もありました。その成果については、この学園だよりと本校HPでぜひご確認ください。

反面、4年見学旅行の中止と、一部の部活動について大会出場を許可できなかったケースがあったのは、申し訳ない事でした。コロナをめぐる状況は短時間で目まぐるしく移り変わっています。やむを得ない場合は今後もあり得るでしょうが、授業だけではなく、より幅広い「学び」のために、来年度も課外活動、各種行事等の実施をできる限り模索して参ります。

最後になりますが、今年度後援会と学生会から多額の寄付をいただき、本校のステージを更新いたしました。昨年度の余剰分でステージをという学生側の提案もあって実現したものです。今後も有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

コロナ禍での学寮運営

校長補佐（寮務主事） 市村 勝己

コロナ禍2年目となった令和3年度であったが、学生達の学びを止めないというスローガンのもと、寮の行事等についても感染症予防対策を講じながら避難訓練、寮祭、寮生総会、寮長選挙などを実施してきた。

春の避難訓練については、早朝に寮内で火災が発生したという想定のもと、避難場所である本校正面玄関前に寮生全員が避難した。一部の上級生において寝坊してしまい、全員を確認するまでに少し時間を要した。

夏の寮祭では、飲食を避け、また寮食堂内のイベントでは定期的な換気などの対策を取りながら実施した。寮祭で特筆したいイベントが二つある。一つはオープニングイベントである、キャンプファイヤーだ。グラウンドのバックネット近くに焚火場を設営し、当日の夜に点火。燃え上がるキャンプファイヤーを囲んでの自己紹介は、コロナ禍における、新たな対面式のスタイルになった。二つ目は伝統の演劇において、ライブをやめて事前収録による映画のような上映方式としたことだ。短い準備時間ながらも、どのチームにおいても面白い内容と質の高さに驚かされた。かなりの編集時間であったと思う。

寮生総会は、昨年度に引き続き、館内一斉放送による方式をとった。先ず点呼をとり、その後に議事に移る。質疑の時間を設けて、質問のある者は時間をもって寮事

務室まできてもらい、マイクの前で質疑応答するスタイルとした。

男子の寮長選挙の立ち合い演説もその人数から、寮生総会と同様の方式とした。ちなみに前年度は、館毎に数回に演説会を分けて寮食堂で実施した。女子は人数が少ないので従来通り、寮食堂に集合しての立会演説会、投票のスタイルであった。

冬の寮祭については、オミクロン変異株による感染拡大を受けて新潟県から初の、まん延防止等重点対策措置が発令されたことから、残念ながら中止するという決断を下すことになった。

原稿執筆の時点（1月中旬）において、寮内におけるクラスター発生もなくここまでこれたことに主役である寮生をはじめ寮務関係者に感謝申し上げたい。本当にありがとうございました。



卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰 (令和4年3月14日時点)

長岡高専の学則に定める賞

特別表彰

電子機械システム工学専攻	小熊 一矢
電子機械システム工学専攻	峠 優太
電子機械システム工学専攻	森 菜々子
環境都市工学専攻	小林 倫
環境都市工学専攻	武樋 力
環境都市工学科	古川 諒太

功労賞

機械工学科	山崎 修平
-------	-------

電気電子システム工学科	竹内 尚汰
物質工学科	森山 桐
環境都市工学科	須藤 将丸
環境都市工学科	古川 諒太

精励賞

機械工学科	渡辺 麟
物質工学科	反町 司
物質工学科	ムーンシュア スウィジャック
環境都市工学科	古川 諒太

皆勤賞

電気電子システム工学科	林 倫瑠
電気電子システム工学科	吉井 葉月
電子制御工学科	本多 充稔
物質工学科	千野 晴冬
環境都市工学科	大橋 颯真
環境都市工学科	佐藤 隆樹
環境都市工学科	島田 康司
環境都市工学科	高橋 涼介
環境都市工学科	藤田 祐樹

各種学会賞等

令和3年度 独立行政法人国立高等専門学校機構 学生表彰 理事長賞	電子機械システム工学専攻	森 菜々子
第26回高専シンポジウム ポスター発表賞・長岡技術科学大学学長賞	電子機械システム工学専攻	小熊 一矢
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	鈴木 大二
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	田中 俊祐
令和3年度土木学会全国大会 第76回年次学術講演会優秀講演者	環境都市工学専攻	小林 倫
令和2年度土木学会全国大会 第75回年次学術講演会優秀論文賞	環境都市工学専攻	武樋 力
令和3年度土木学会全国大会 第76回年次学術講演会優秀講演者	環境都市工学専攻	武樋 力
日本機械学会晶山賞	機械工学科	渡辺 麟
日本機械学会 北陸信越支部 卒業研究発表の部 学生賞	機械工学科	渡辺 麟
IEEE Shin-etsu Section Young Researcher Paper Award	電子制御工学科	長部 稜子
第11回高専-TUT太陽電池合同シンポジウム&防災・減災(エネルギー)シンポジウム 優秀口頭発表賞	物質工学科	張 乃偉
The 6th International Conference on "Science of Technology Innovation" 2021 (6th STI-Gigaku 2021) Best Research Presentation Award	物質工学科	田崎 傑士
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	反町 司
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	ムーンシュア スウィジャック
令和3年度 全国高専土木工学会 近藤賞	環境都市工学科	古川 諒太

同窓会長賞

プレラボ活動

電子機械システム工学専攻	酒井 陽太
電子機械システム工学専攻	櫻井 康貴
電子機械システム工学専攻	鈴木 大二
電気電子システム工学科	篠田 峻平
電気電子システム工学科	高橋 夏
電気電子システム工学科	星野 大海

バスケットボール部

電気電子システム工学科	竹内 尚汰
環境都市工学科	須藤 将丸

ロボティクス部

機械工学科	越塚リョウ
機械工学科	徳江 豆樹
機械工学科	長谷川晴基
電気電子システム工学科	鈴木 恒輝
電子制御工学科	小日向慶人
電子制御工学科	高野 新士

柔道部

物質工学科	飯野 杏
物質工学科	矢代 響
環境都市工学科	村山 澁太

陸上競技部

環境都市工学科	山本 温人
---------	-------

水泳部

環境都市工学科	櫻井 優
---------	------

進路状況 (令和4年3月14日時点)

学科

学 科	区 分	卒業者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県 内	県 外		
機械工学科		41	22	15	11	4	4
電気電子システム工学科		36	14	22	7	15	0
電子制御工学科		29	21	7	4	3	1
物質工学科		45	31	14	6	8	0
環境都市工学科		42	23	18	12	6	1
計		193	111	76	40	36	6

専攻科

専 攻	区 分	修了者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県 内	県 外		
電子機械システム工学専攻		25	9	16	4	12	0
物質工学専攻		7	2	5	2	3	0
環境都市工学専攻		10	4	6	1	5	0
計		42	15	27	7	20	0

高志台さくら基金のお知らせ

長岡高専の学生の教育研究に関する活動の支援を行います。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

●学生への支援内容

教育研究活動、奨学金の給付、課外活動、就職活動、海外研修、国際交流、社会貢献活動、学習環境整備 など

●令和2年度受入実績

82件 7,359,000円

●税法上の優遇措置

個人の方は所得税・住民税控除が受けられます。法人の方は全額損金に算入できます。

【基金ホームページ】 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/sakura-fund/>

【お問い合わせ先】 長岡工業高等専門学校総務課総務係

T E L : 0258-34-9311

E-mail : kikin@nagaoka-ct.ac.jp



ホームページQRコード